



夏休み号

平成27年7月17日

横浜市立東中田小学校

校長 芝フク代

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

晴れの日、雨の日

副校長 岩間 洋

私は毎日「泉の森ふれあい樹林」を通過して通勤しています。緑の多い泉区の中でも、様々な植物が見られるこの道を歩くことが小さな楽しみとなっています。

四季折々の花が咲き、自然の植物がたくましく伸びゆく様は私たちに勇気と希望を与えてくれます。

草や木にとってなくてはならないのが雨の日であり、よく晴れた日です。雨の日と晴れの日がどちらも丁度よいバランスで繰り返されることで、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。

もし、雨ばかり降っていれば、植物は根が腐ってよく育ちません。逆に、晴ればかりでも、水分がなくなって枯れてしまいます。このように、植物の成長には反対のもの同士が必要です。

子どもの心の成長にも、雨の日と晴れの日のように反対のものが 필요합니다。そして、それらは「やさしさ」と「きびしさ」です。

子どもたちは「やさしさ」だけでは甘えが出たり、わがままになったりして、よい心は育ちません。また逆に「きびしさ」だけでは気持ちが暗くなったり、いじけたり、イライラしたりして、よい心は育ちません。

子どもたちは一日の生活の中で何度か注意されたり、褒められたりする機会があると思います。そのときに、厳しく注意したり、やさしく褒めてあげたりすることが必要です。

厳しく叱ったり、指摘したりした後でも、なぜ注意されたのかを自分で気付くようになれば、そのことを褒めてあげることも大切です。

子どもたちは、時々過ちを犯すこともあるかもしれませんが、そのときに、厳しく注意されたり、やさしく褒められたりすることによって的確に判断ができる人に成長していきます。

このような繰り返しを経験することにより社会の一員として、自覚をもった人間に成長していくのだと思います。

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。これから始まる夏休みは、長い時間を利用して、子どもたちが様々な体験活動をしたり、読書や工作やお手伝い等に取り組んだりするのにとてもよい機会です。生活リズムや体調管理に十分気を付け、是非、親子のふれ合いを大切に、楽しく充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。

また、この時期は恒例の地域行事（盆踊り・夏祭り・花火大会等）が行われます。

地域の方々が、子どもたちが楽しく安心して参加できるように、企画・運営をしてくださっています。この機会にお子さんと一緒に地域行事に参加してみたいかどうか。

心も体も一回り大きく成長した子どもたちに8月末にまた笑顔で会えることを楽しみにしています。